

## 安全データシート (SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : LL-21  
 会社名 : 株式会社リブライト  
 住所 : 名古屋市昭和区小坂町二丁目2番4 電話番号 : 052-732-8151  
 緊急連絡先 : 052-732-8151  
 製品説明 : 業務用・洗浄剤

## 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

GHS分類

物理化学的危険性

自然発火性固体 : 区分外

自己発熱性化学品 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外

環境に対する有害性

: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル : なし

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害

注意書き [予防策] : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

: 取扱後は手をよく洗うこと。

: 保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。

[対応] 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚をシャワーで洗うこと。衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

[保管] : 施錠して保管すること。

[廃棄] : 内容物や容器を都道府県または市町村の明示する規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分情報 : 炭酸塩

過炭酸塩

エチレンジアミン四酢酸塩

界面活性剤

ポリオキシエチレンアルキルエーテル

[備考] ポリオキシエチレンアルキルエーテル (C=12-15) : 化学物質管理促進法 第一種指定化学物質 第407号 15.7%

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 粉塵やミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。何らかの異常を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。

いずれの場合も、医師への受診時には、製品または安全データシートを持参する。

---

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。  
特有の消火方法 : 本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。  
移動ができない場合は、風上より容器周囲に散水して冷却する。  
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。  
消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
- 

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスクなどの保護具を着用する。  
保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。  
環境に対する注意事項 : 雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。  
除去方法 : ほうきなどを用いてできる限り空容器などに回収する。  
回収した跡、または回収できないものは、多量の水にて十分に洗い流す。洗浄水は酸（希硫酸など）で中和してから排出する。
- 

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
注意事項 : 眼及び皮膚への接触を避ける。  
安全取扱い注意事項 : 適切な排気換気装置を使用する。  
: 取扱い後はよく洗うこと。  
: 適切な保護具を着用すること。
- 保管  
適切な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- 

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。  
適切な排気換気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度  
日本産業衛生学会 : 設定されていない。  
ACGIH : 設定されていない。
- 保護具  
呼吸器の保護具 : 状況に応じ着用  
手の保護具 : ゴム保護手袋  
目の保護具 : 保護メガネ  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、ゴム長靴
- 

## 9. 物理的及び化学的性質

- 当該化学物質の外観 : 形状・色 ; 白色～淡黄色粉末  
pH : 10.4～11.4 (1%、25℃)  
溶媒に対する溶解性 : 水に溶解する  
引火点 : なし (不燃物)  
臭い : 特異臭あり
- 

## 10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 通常の実験条件（屋内、常温）においては安定である。  
危険有害反応可能性 : 酸性物質と反応し中和熱を発生する。  
避けるべき条件 : 酸性物質との接触、40℃以上の高温下での保管、直射日光下、開放状態  
避けるべき材料 : アルミニウム、すず、亜鉛、銅・銅合金などの金属、漆器  
危険有害な分解生成物 : 特になし

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口：経口急性毒性推定値 区分外 (2001mg/kg<経口急性毒性推定値(ATE))

皮膚腐食性/刺激性：強い刺激作用がある。

眼に対する重篤な損傷/刺激性：激しい痛みを感じ、結膜や角膜が侵される。

呼吸器または皮膚感受性

呼吸器：口腔・食道・胃部の灼熱感がある。

皮膚：粉塵やミストを吸入した場合、鼻・喉・気管支・肺を刺激する。

---

## 12. 環境影響情報

土壌中移動性：情報なし

残留性・分解性：CODMn 177ppm (0.1%水溶液; JIS K0102 1998)

生体蓄積性：情報なし

生態毒性：アルカリ性であるため、流出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：少量の場合は、水で希釈してから、酸（希硫酸など）で中和して排出する。

多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理する。

汚染容器・包装：使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。

---

## 14. 輸送上の注意

国際法規制：航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

国連分類・国連番号：該当しない

国内法規制 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
  - ・荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
  - ・転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
  - ・直射日光下での輸送は避ける。
  - ・水濡れを避ける。
- 

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：該当しない

化学物質管理促進法（PRTTR法）：該当する（第一種指定化学物質第407号）

ポリオキシエチレンアルキルエーテル（C=12-15）15.7%

労働安全衛生法/通知対象物質：該当しない

表示物質：該当しない

有機則：該当しない

特化則：該当しない

消防法：該当しない

危険物船舶運送及び貯蔵規則：該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：該当しない

水質汚濁防止法/水素イオン濃度：該当する

---

## 16. その他の情報

引用文献：・製品安全データシートの作成指針（改訂版）〔（社）日本化学工業協会〕

・JIS Z 7250/化学物質等安全データシート

・毒物劇物取締全書〔じほう〕

・14501の化学商品〔化学工業日報社〕

・化学品別適用法規総覧〔化学工業日報社〕

・危険物船舶運送及び貯蔵規則（十一訂版）〔海文堂〕

・公害防止の技術と法規（水質編）〔（社）産業公害防止協会〕

・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進の進め方〔（財）日本規格協会〕

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。